

2024年2月22日
日本伝熱学会 東海支部 若手研究会 幹事
西川原 理仁 (豊橋技術科学大学)
川村 洋介 (名城大学)

日本伝熱学会東海支部「第3回若手研究会」の開催のご案内 (申込締切延長)

拝啓

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本伝熱学会東海支部では 2021 年度より、持続的な東海地区の若手伝熱研究者・技術者の交流活性化と地域発展を目指して「若手研究会」を発足いたしました。この「若手研究会」では学会や発表会とは異なり、参加者が自由闊達に議論・勉強を行う場としていきます。これまでの活動については下記リンクよりご覧ください。<https://www.htsj.or.jp/branch/tokai/>

第3回のテーマは昨年度に引き続き、「脱炭素社会と伝熱」とさせていただきます。今年度は「地域熱供給に関する講演」と「排熱を利用した ZEB 施設見学」の2部構成と致しました。終了後に懇親会も予定しております。実施方法については、講演および施設説明については対面とオンライン(Zoom)によるハイブリッド開催、施設見学は対面のみとさせていただきます。

参加申込締切を延長いたしましたので、奮ってご参加ください。また、お近くの方々にもご案内いただけますと幸いに存じます。

敬具



地域熱供給イメージ

<https://www.jdhc.or.jp/virtualfactory/>



セラミックス焼成排熱利用による ZEB

<https://www.challenge-zero.jp/jp/casestudy/750>

<若手研究会発足の趣旨について>

日本伝熱学会東海支部では新たな取り組みとして「若手研究会」を発足することとしました。産業の盛んな東海地区では、多くの業種で技術開発や製造現場における伝熱工学的課題を抱えております。その中で伝熱学会東海支部が果たす役割は、企業の中の若手技術者、大学や研究機関の若手研究者との交流、親交を図り、長期にわたって相談・協力し合える関係性を醸成し、東海地区の伝熱工学に関する学術・技術コミュニティの持続的な発展を目指すこととあります。また、伝熱工学単体で成立する技術、製品、あるいは物理現象は少なく、「伝熱工学×〇〇」という分野融合が今後さらに強く求められています。今後の SDGs, ESG 社会を見据えて、伝熱工学周辺分野あるいは、これまで全く伝熱工学が関係しなかった分野との融合を先導的に図り、新たな技術イノベーションやブレイクスルー、ならびに未来の伝熱学術分野の創出につなげることも視野に入れております。

さらには、伝熱工学は近年ますます重要性を増しておりますが、大学教育科目として広く教えられてきているわけではないのも現状です。新たに伝熱関係の業務に携わる若手技術者の方の学術的サポートを図るという意味合いもあります。

本会は伝熱学会員に限定することなく、また伝熱に関する経験も問わず、さらに地域や年齢も制限せずに、どなたでも気軽に参加できるオープンな体制にしたいと思っております。一方で、積極的な交流を図るため、単なる講演会ではなく、参加者も顔が見える形で、積極的な意見交換(質問, 要望でも構いません)も求めていきたいと思っておりますので、趣旨に賛同いただける方々のご参加をお待ちしております。

記

【日時】 2024年3月21日（木） 13:00～16:40

【実施方法】 対面とウェブ(Zoom)によるハイブリッド開催（Zoomは講演のみ）

【対面会場】 日本ガイシ株式会社 本社本館（新堀川西側）
アクセス: <https://www.ngk.co.jp/info/network/nagoya.html>
お車でお越しの方は事前にお知らせください。

【参加資格】 伝熱に関係もしくは伝熱に興味のある若手研究者・技術者（超初級～中級者向け）
（年齢制限はございませんので、どなたでも気軽にご参加ください。）

【参加費】 無料（ただし、要事前申し込みとなります。）

【プログラム】

13:00 開会挨拶および若手研究会の紹介

13:10 **【第1部】**
～14:00 講演題目「スマートエネルギー地域熱供給は脱炭素に貢献する？」
講演者：北澤龍太郎 氏
（所属：一般社団法人 日本熱供給事業協会） <https://www.jdhc.or.jp>

概要

地域熱供給の概要、特徴、社会的意義、全国事例などを紹介するとともに、カーボンニュートラル社会実現への貢献について、皆さまの理解が深まるよう具体的なつながりについて紹介する。また、実際の熱供給施設の内部映像なども紹介する。

14:00 休憩
～14:15

14:15 **【第2部】**
～16:30 セラミック焼成排熱利用による ZEB（ゼロエネルギービル）および関連施設見学
瑞穂新 E1 棟は、隣接工場の焼成炉からの排出排熱のうち、これまで未利用だった 250℃以下の低温排熱を放射冷暖房空調や給湯に有効利用するほか、ガラスの吹き抜け空間（エコポイド）による自然換気・自然採光や、地中熱による導入外気定温化（クール・ヒートトレンチ）などにより、省エネ法の基準 CO₂排出量に対し 54%削減を目指した「ZEB-Ready」として設計したビルであり、省エネ性評価シミュレーター(BEST)を活用したビルエネルギー管理システム(BEMS)などを見学する。また日本ガイシのさまざまなセラミック技術を体験できパートナーとの協働を推進する製品展示 ID ルームも見学する。
<https://www.challenge-zero.jp/jp/casestudy/750>

野尻 敬午 氏（日本ガイシ株式会社 ESG 推進部部長）

16:30 閉会挨拶

17:15 懇親会@社員食堂にて（2,000円税込）

【申込方法】 下記フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/CR6BTU5DEnxtAP9>
対面での参加人数は先着順で 30名とさせていただきます。

【申込〆切】~~2024年2月22日(木)~~ → 2024年3月6日(水) (延長しました.)

【問い合わせ】

川村 洋介
学校法人 名城大学 理工学部 機械工学科
Tel: 052-838-2324
E-mail: ykawamur@meijo-u.ac.jp

以上